

# 社会福祉法人 のどか

## 障害特性に合う仕事を事業所側が見つけ出す



### ■事業所データ

設立 2002年(平成14年)  
常用労働者数 94人  
代表者 理事長 橋詰 末榮  
所在地 〒377-1614  
群馬県嬬恋村  
田代938-8

TEL:0279-98-0789  
URL:www.nodoka.or.jp



### ■会社概要

常時介護を必要とする方々に対応した介護施設を中心に事業を展開しています。

### ■障害のある職員の雇用状況

障害のある職員数 3人  
うち重度障害のある職員数 1人

区分	身体	知的	精神
正社員			
契約社員	1人	2人	
パート			
アルバイト			

### 事業内容

社会福祉法人のどかは、身体や精神に障害があり、御家庭で適切な介護を受けることが困難なお年寄りのための特別養護老人ホームを運営しています。御家族の方が冠婚葬祭や公的行事への参加などで御自宅にすることができない時の短期間の介護から、御家族の同居や援助を受けることが困難な方の長期間の介護まで、幅広く支援しています。



### 障害のある職員の業務内容

- ・ヘルパー業務
- ・清掃業務



### 障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

#### 障害のある方を雇用するために必要なものは何かと考える



総務部部长  
黒岩 修一さん

#### 障害特性を知る

障害のある方を雇用したことがないから、障害のある方に関して分からないだけであって、雇用をすることにより色々なことが分かってきます。まずは特別支援学校や支援機関などに相談をすることから始めて欲しいと思います。また、事業所への助成金制度などもあるため、事業所にとってメリットは大きいと思います。我々事業所側から行動することが大事です。

#### 他の職員の見本になる働き

一度に複数の業務を指示すると、障害のある職員は混乱してしまうこともあります。しかし、丁寧に指導することにより作業内容を理解し、慣れることにより指示がなくても続けて作業ができるようになります。また、仕事に対して手を抜くこともなく、1日の仕事のスケジュールを完璧にこなさないと帰ろうとしないため、現在では他の職員の見本になっていると思います。

### 職員の1日のスケジュール

障害のある職員3名のうち、知的障害のある黒岩さんの仕事の様子を紹介します。

- 9:40 ● 出社  
朝礼を行い、1日の作業の流れや、連絡事項などを確認します。
- 10:00 ● 作業開始  
施設内の清掃を行います。専用の道具を用意しているため、安心して作業に取り組んでいます。
- 12:00 ● 休憩  
休憩室で他の職員と一緒に談笑しながら昼食をとります。
- 13:00 ● 作業再開  
引き続き施設内の清掃を行います。入居されているお客様や、訪問されたお客様への挨拶がしっかりできるよう心掛けています。
- 17:00 ● 退社  
業務内容を報告し、退社します。



■フロア清掃  
玄関近くのフロアを清掃します。お客様が足をすべらないように気を付けて作業をします。



■浴槽の清掃  
浴槽の清掃を行います。洗い残しや流し残しに気を付けて作業をします。



■トイレ清掃  
施設内の全てのトイレを毎日清掃しています。

### 雇用に際しての取り組み

#### 障害のある職員に合った仕事を任せる

障害のある職員の作業が遅く、上手にできない理由は、任せた仕事の内容が障害のある職員に合っていないからだと思います。採用前の実習や面談などで適性を見極め、それに合った仕事を任せることにより、最終的には障害のない職員と大差なく仕事をこなしてくれます。また、仕事ができるようになると、自信を持って仕事に挑むようになり、性格も明るくなって施設内のコミュニケーションも活発になります。



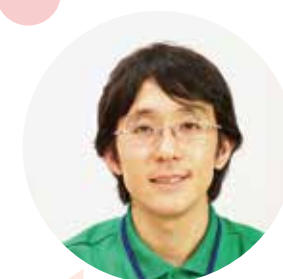
#### 業務内容の固定

障害のある職員の特徴の一つとして、変化に弱い面があり、一度覚えた仕事の流れに違う作業を加えると困惑してしまったり、また、同じ清掃道具でも、いつもとは異なる形や色のものを渡すと、どうしても分からなくなることもあります。そのため、1日の流れを決めて他のことをさせない、専用の道具を用意して必ず同じ場所に配置するなど、障害のある職員が安心して力を発揮できる職場環境を心掛けています。



※ジョブコーチ(職場適応援助者)・・・障害のある方が職場に適應できるよう、職場に向いて、障害のある方及び事業主に対して支援や助言を行う。

### 職員の声



黒岩 聖弘さん  
(入社:平成24年11月)

#### 楽しく仕事ができていると思います

##### ・仕事内容

施設内の清掃を担当しており、お客様が利用する玄関ホール、カウンターロビーのモップかけや、お風呂掃除などを行っています。玄関ホールやカウンターロビーの掃除をする際は、入居中の利用者が足を滑らせないように気を付けながら作業をしています。また、掃除中でも利用者やスタッフとすれ違うときは、あいさつをしっかりとできるように心掛けています。

##### ・仕事に対する思い

清掃する場所によって手順や方法が異なるため、入社当初は上手にできないこともありましたが、そのような時、ジョブコーチ※の方が来てくださり、優しく丁寧に指導をしていただいたことと、自分専用の掃除用具まで用意していただいたこともあり、仕事を覚えることができました。現在では、ほぼ一人で施設内の清掃を任されており、自信を持って仕事に打ち込めています。

##### ・就職を考えている障害のある方へ

まずは支援機関などに相談することから始めてほしいと思います。障害者雇用に積極的に取り組まれている事業所の紹介や、障害者就職面接会の案内をいただいたり、きつと力になってくれると思います。

#### まずは受け入れる

障害のある職員を実際に受け入れてみると分からないことはたくさんあります。受け入れる前から「これだから無理」「あれだから無理」と考えてはいけません。「では障害のある方を受け入れるためにはどうすればいいか」と考える視点を換え、前向きに取り組むことが大切です。



#### コミュニケーション能力の向上

障害のある職員に、常に施設利用者に近い場所での作業を任せているため、声を掛けられた際の対応など、コミュニケーション能力が必要になります。彼らの能力を伸ばすため、毎日欠かさず話をする、一つの業務が終わるたびに報告をさせるなどしています。本人が考えて報告する機会を日々設けることにより、利用者や他の職員とも自然に会話ができるようになり、仕事がしやすくなるようにしています。

